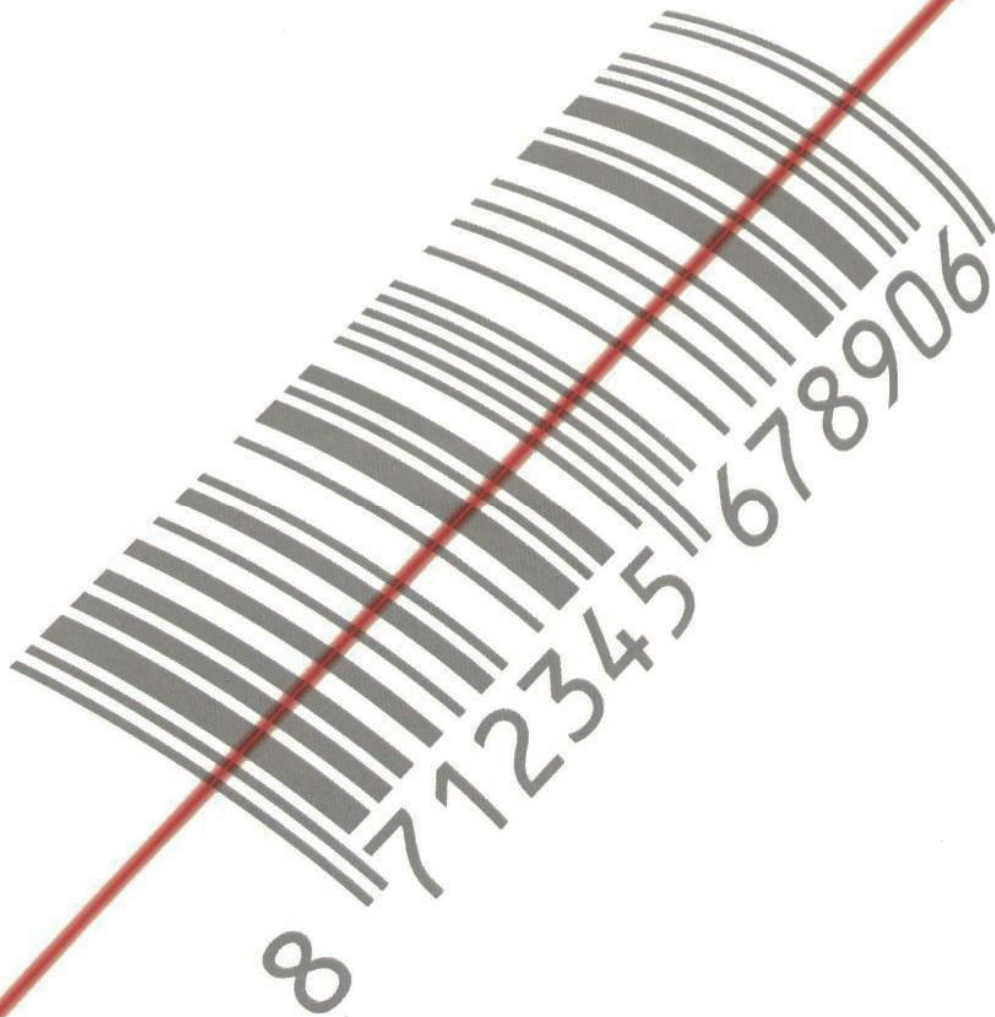


Scantech-ID

プログラミングマニュアル・完全版 Ver1.00



・ 目次

プログラムの設定手順.....	4
設定用バーコード.....	5
バーコードリーダーのバージョン情報.....	6
初期化.....	7
ビープ音の設定.....	8
スリープモード1.....	9
スリープモード2.....	10
遅延設定.....	11
ボーレート.....	12
ボーレート2.....	13
パリティチェック1.....	14
パリティチェック2.....	15
パリティチェック3.....	16
パリティチェック4.....	17
パリティチェック5.....	18
入力モード設定.....	19
入力モード設定2.....	20
キャラクタ間遅延設定1.....	21
キャラクタ間遅延設定2.....	22
USB接続モード設定.....	23
USB接続モード設定2.....	24
読み取りコード選択.....	25
読み取りコード選択・JAN、UPC.....	26
読み取りコード選択 CODE128.....	27
読み取りコード選択CODE39.....	28
読み取りコード選択CODE32・39.....	29
読み取りコード選択CODABAR.....	30
読み取りコード選択INTERLEAVED.....	31

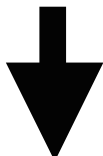
読み取りコード選択	MSIPLESSEY.....	32
読み取りコード選択	ISBN.....	33
読み取りコード選択	ISSN.....	34
読み取りコード選択	GS1DATABAR.....	35
読み取りコード選択	GS1DATABAR EXPANDED.....	36
読み取りコード選択	GS1DATABAR LIMITED.....	37
読み込み桁数の設定.....		38
読み取り桁数の設定1.....		39
読み込み桁数の設定2.....		40
読み込み桁数の設定3.....		41
読み込み桁数の設定4.....		42
読み込み桁数の設定5.....		43
先頭付加コード設定.....		44
末尾付加コード設定.....		45
コードのIDを送信 1.....		46
コードのIDを送信 2.....		47
よくつかう設定.....		48
初期化.....		49
CODABAR有効設定.....		50
CODABAR スタート・ストップ無効.....		51
CODE39 最小読み取り桁数設定.....		52
CODE39 最小読み取り桁数設定 2.....		53
CODE128 最小読み取り桁数の指定.....		54
EAN/UPC読み取りのON・OFF.....		55
先頭の0を省略しない.....		56
設定用コード.....		57
付加コード 1.....		58
工場設定デフォルト設定.....		59
工場設定デフォルト設定2.....		60

プログラムの設定手順

1. 設定開始をスキャン



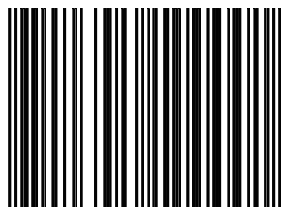
1.1



2. 変更項目（このページ以降にあり）
をスキャン



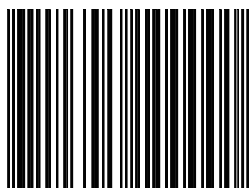
3. 設定終了をスキャン



1.1

1.0 設定用バーコード

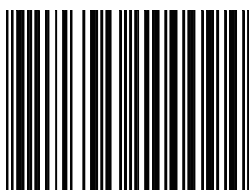
設定開始・設定終了



1.1

定置式バーコードリーダーの設定開始時と設定終了時にスキャンします。

設定のキャンセル

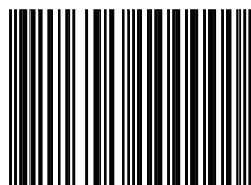


1.2

設定をしている際にその設定を途中でキャンセルする場合に読み取ります。

1. 1 バージョ ンの確認

1. 設定開始



1.1

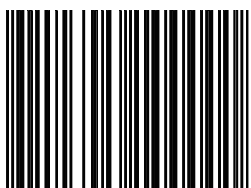
2. バージョ ンの確認



1.2.1

本体のファームウェアバージョンを確認できます。

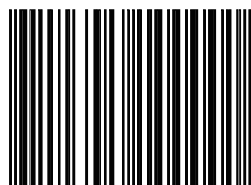
3. 設定終了



1.1

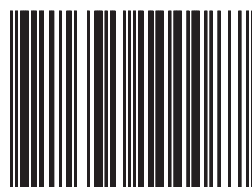
1.2 初期化（工場出荷時に戻す）

1. 設定開始



1.1

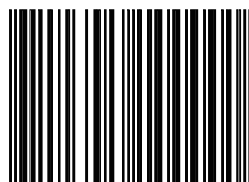
2. 初期化



このコードを読み込み後にバーコードリーダーが再起動したら初期化完了です。

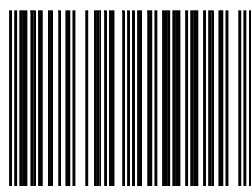
2.0 ビープ音の設定

1. 設定開始



1.1

2. ビープ音変更



2.1.1

バーコードを読み取った時の音を変更します。
回数に応じて変わります。
(5 種類)

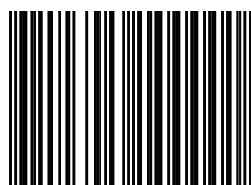
2. ビープ音の ON・OFF



2.1.2

ビープ音の ON・OFF を変更をします。
このコードの読み取り回数が奇数の場合は OFF、偶数だと ON になります。
※読み取り回数が奇数の場合、ランプも音も反応しません。

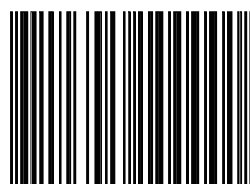
3. 設定終了



1.1

3.0 スリープモードの設定

1. 設定開始



1.1

2. スリープ OFF

2. 10 分後にスリープ



2.2.1

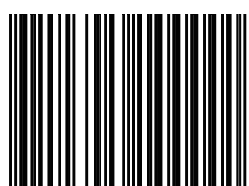
常時起動状態にしますが
バーコードリーダーに内蔵して
あるモーターに負担がかかります。



2.2.2

10 分間放置されるとスリープします。
※デフォルト設定

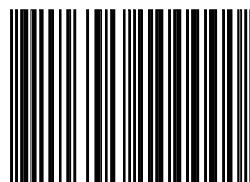
3. 設定終了



1.1

3.1 スリープモードの設定 2

1. 設定開始



1.1

2. 30 分後にスリープ



2.2.3

30 分間放置されるとスリープします。

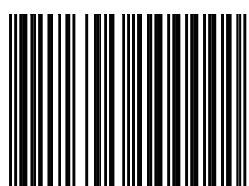
2. 60 分後にスリープ



2.2.4

60 分間放置されるとスリープします。

3. 設定終了

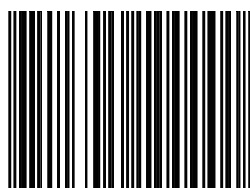


1.1

4.0 読み取りの遅延設定

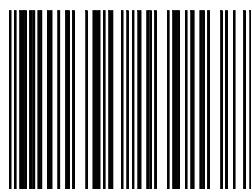
同一コードを読み取った際に少し時間を開けて読み込む設定です。
同じコードを連続して読み取ったりする誤読防止をします。

1. 設定開始



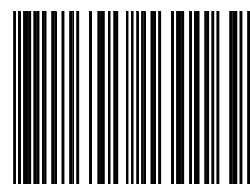
1.1

2. 同一コード遅延 0.3 秒



2.3.4

2. 同一コード遅延 0.6 秒



2.3.7

3. 設定終了

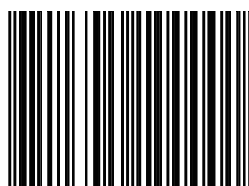


1.1

5.0 ボーレート設定 1

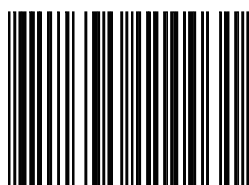
同一コードを読み取った際の転送速度を設定します。

1. 設定開始



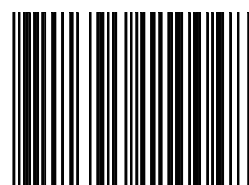
1.1

2. ボーレート 4800



3.1.4

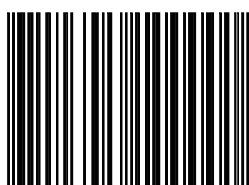
2. ボーレート 9600



3.1.5

※デフォルト設定

3. 設定終了

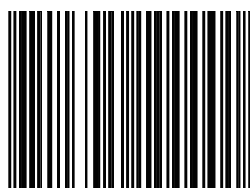


1.1

5.1 ボーレート設定 2

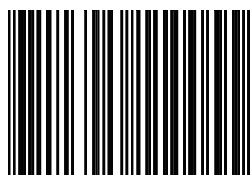
同一コードを読み取った際の転送速度を設定します。

1. 設定開始



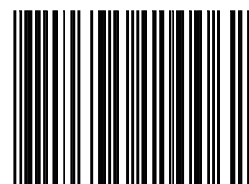
1.1

2. ボーレート 19200



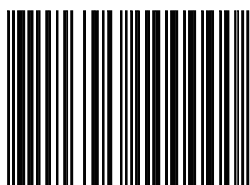
3.1.6

2. ボーレート 38400



3.1.7

3. 設定終了

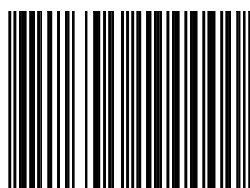


1.1

6.0 パリティチェックの設定

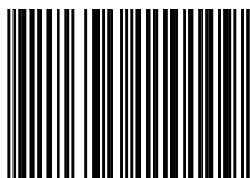
データの信頼性を高めるためキャラクタ毎にチェックを入れます。

1. 設定開始



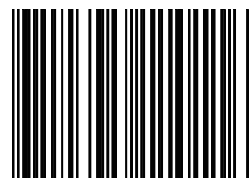
1.1

2. パリティ無し



3.1.10

2. 偶数パリティ



3.1.11

3. 設定終了

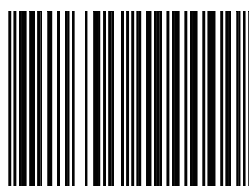


1.1

6.1 パリティチェックの設定2

データの信頼性を高めるためキャラクタ毎にチェックを入れます。

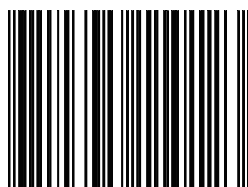
1. 設定開始



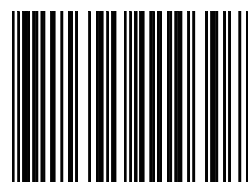
1.1

2. 奇数パリティ

2.7 データビット

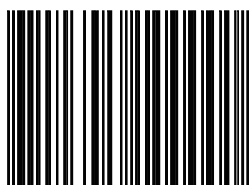


3.1.12



3.1.15

3. 設定終了

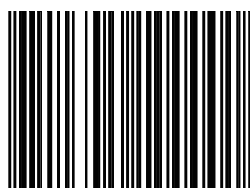


1.1

6.2 パリティチェックの設定 3

データの信頼性を高めるためキャラクタ毎にチェックを入れます。

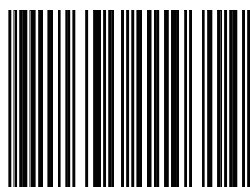
1. 設定開始



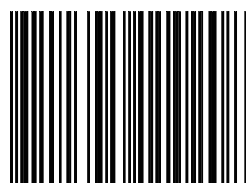
1.1

2.8 データビット

2.1 ストップビット



3.1.16



3.1.20

3. 設定終了

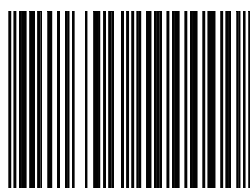


1.1

6.3 パリティチェックの設定 4

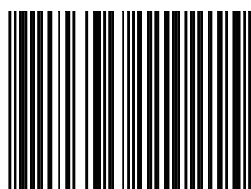
データの信頼性を高めるためキャラクタ毎にチェックを入れます。

1. 設定開始



1.1

2.2 ストップビット



3.1.21

2. RTS/CTS 有効 (全二重通信)



3.1.24

3. 設定終了

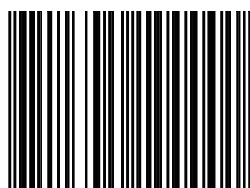


1.1

6.4 パリティチェックの設定 5

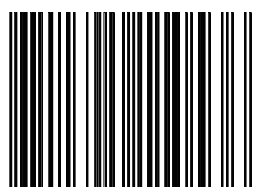
データの信頼性を高めるためキャラクタ毎にチェックを入れます。

1. 設定開始



1.1

2. RTS/CTS 有効 (半二重通信)



3.1.25

2. RTS/CTS 無効



3.1.26

3. 設定終了

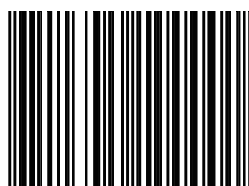


1.1

7.0 入力モード設定

入力シミュレーション方法を変更します。

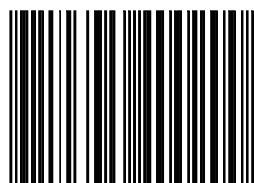
1. 設定開始



1.1

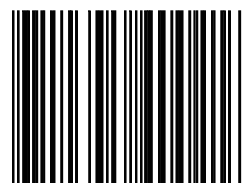
2. ALT 方式インター

ナショナル キーボード
(デフォルト)



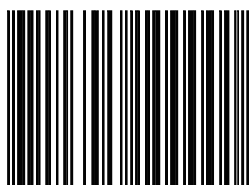
3.4.10

2. 英語キーボード



3.4.11

3. 設定終了

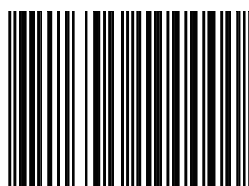


1.1

7.1 入力モード設定 2

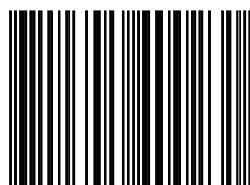
入力シミュレーション方法を変更します。

1. 設定開始



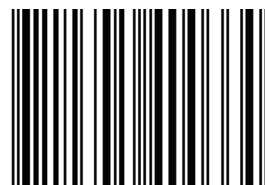
1.1

2. フランス語



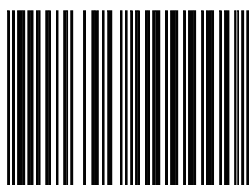
3.4.13

2. 日本語



3.4.15

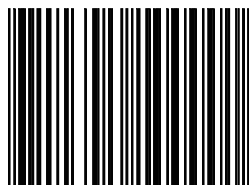
3. 設定終了



1.1

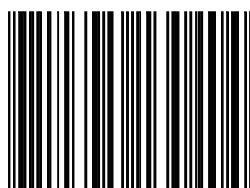
8.0 キャラクタ間遅延設定

1. 設定開始



1.1

2. キャラクタ遅延 0 秒



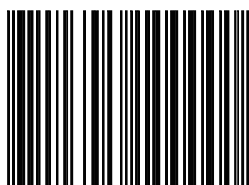
3.4.35

2. キャラクタ遅延 2 ミリ秒



3.4.37

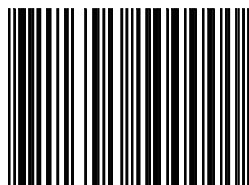
3. 設定終了



1.1

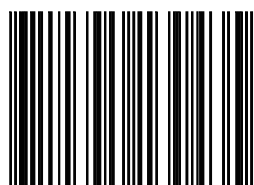
8.1 キャラクタ間遅延設定

1. 設定開始



1.1

2. キャラクタ遅延 5 ミリ秒



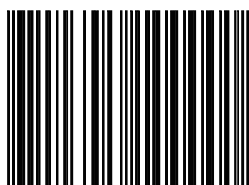
3.4.38

2. キャラクタ遅延 10 ミリ秒



3.4.39

3. 設定終了

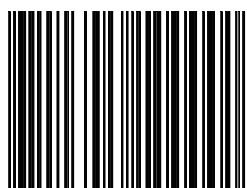


1.1

9.0 USB 接続モード設定

※これらの設定後はバーコードリーダーの電源を一度 OFF にしてください。

1. 設定開始



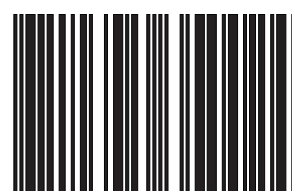
1.1

2. USB キーボードエミュレーション (デフォルト設定)



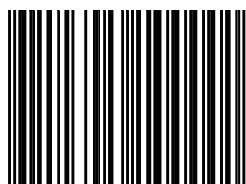
3.5.1

2. USB IBM FIXED POS SCANNER



3.5.2

3. 設定終了



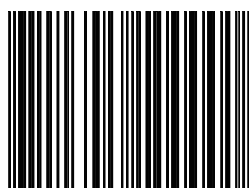
1.1

9.1 USB 接続モード設定 2

※これらの設定後はバーコードリーダーの電源を一度 OFF にしてください。

※別途ドライバが必要になります。

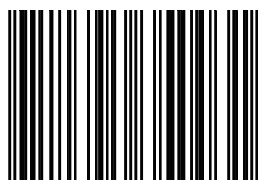
1. 設定開始



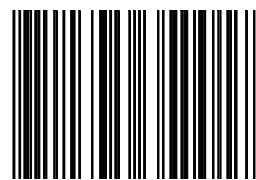
1.1

2. USB IBM HANDHELD SCANNER

2. USB COMPORT

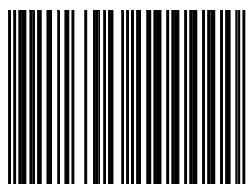


3.5.3



3.5.4

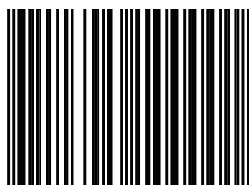
3. 設定終了



1.1

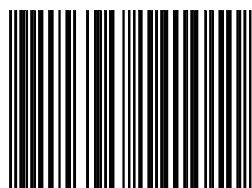
10.0 読み取りコードの選択

1. 設定開始



1.1

2. JAN/UPC ON アドオン OFF



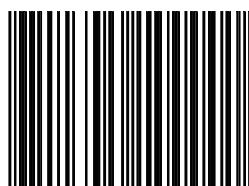
4.1.1

2. JAN/UPC OFF アドオン OFF



4.1.2

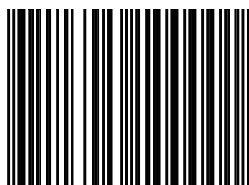
3. 設定終了



1.1

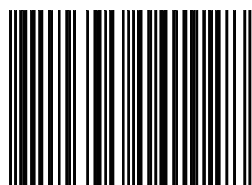
10.1 読み取りコードの選択

1. 設定開始



1.1

2. JAN/UPC ON アドオン ON

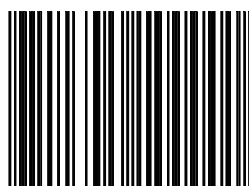


4.1.3

アドオン有効設定の場合、アドオンが含まれていない
バーコードでも読み取ることが出来ます。

アドオンが見つからない場合は通常の UPC/JAN
メインコードを送ります。

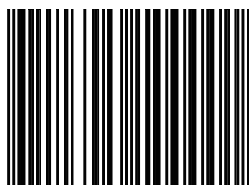
3. 設定終了



1.1

10.2 読み取りコードの選択 3

1. 設定開始



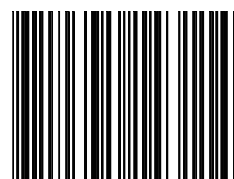
1.1

2. CODE 128/EAN 128 ON



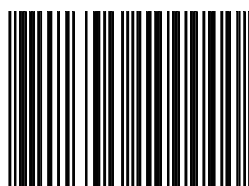
4.1.20

2. CODE 128/EAN 128 OFF



4.1.21

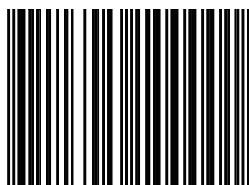
3. 設定終了



1.1

10.3 読み取りコードの選択 4

1. 設定開始



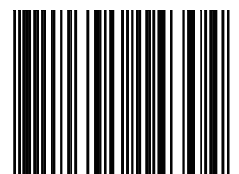
1.1

2. CODE 39 ON



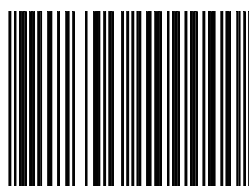
4.1.25

2. CODE 39 FULL ASCII ON



4.1.26

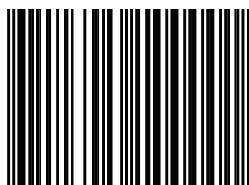
3. 設定終了



1.1

10.4 読み取りコードの選択 5

1. 設定開始



1.1

2. CODE 32 ON



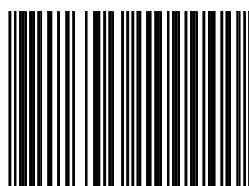
4.1.27

2. CODE 39/CODE 32 OFF



4.1.28

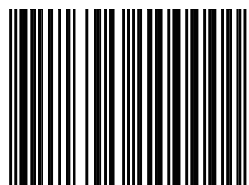
3. 設定終了



1.1

10.5 読み取りコードの選択 6

1. 設定開始



1.1

2. CODABAR ON



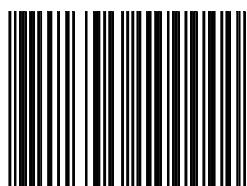
4.1.30

2. CODABAR OFF



4.1.31

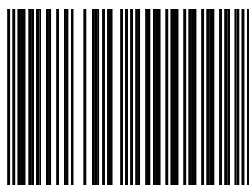
3. 設定終了



1.1

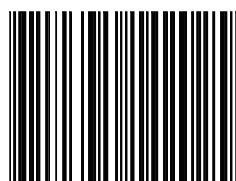
10.6 読み取りコードの選択 7

1. 設定開始



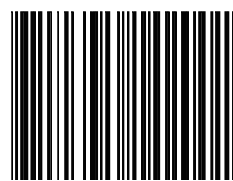
1.1

2. INTERLEAVED 2/5 ON



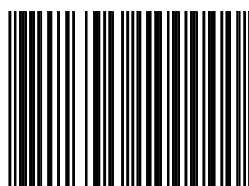
4.1.35

2. INTERLEAVED 2/5 OFF



4.1.36

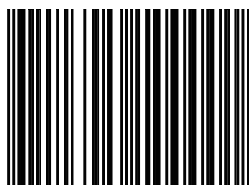
3. 設定終了



1.1

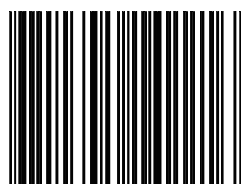
10.7 読み取りコードの選択 8

1. 設定開始



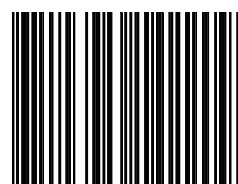
1.1

2. MSI PLESSEY ON



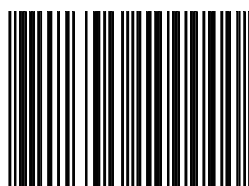
4.1.39

2. MSI PLESSEY OFF



4.1.40

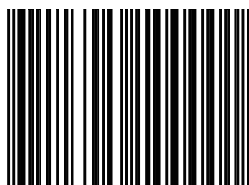
3. 設定終了



1.1

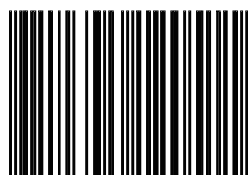
10.8 読み取りコードの選択 9

1. 設定開始



1.1

2. ISBN ON



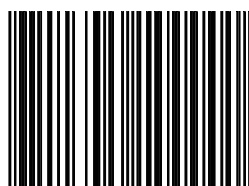
4.1.43

2. ISBN OFF



4.1.44

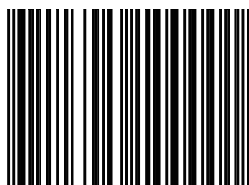
3. 設定終了



1.1

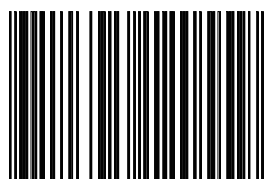
10.9 読み取りコードの選択 10

1. 設定開始



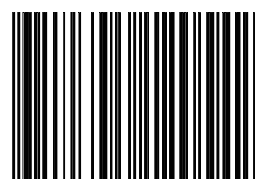
1.1

2. ISSN ON



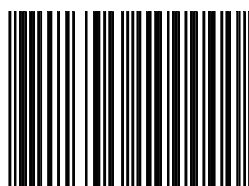
4.1.45

2. ISSN OFF



4.1.46

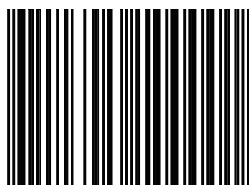
3. 設定終了



1.1

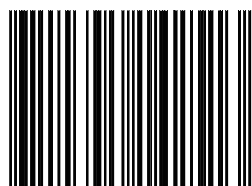
10. 10 読み取りコードの選択 11

1. 設定開始



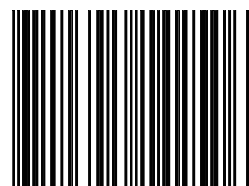
1.1

2. GS1 DATABAR ON



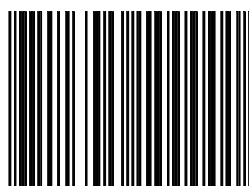
4.1.47

2. GS1 DATABAR OFF



4.1.48

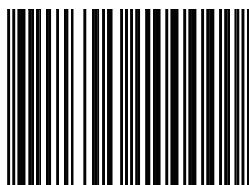
3. 設定終了



1.1

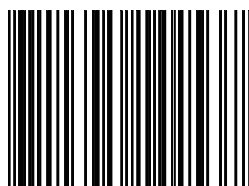
10. 11 読み取りコードの選択 12

1. 設定開始



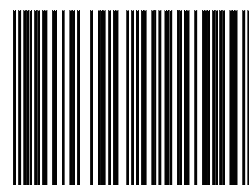
1.1

2. GS1 DATABAR EXPANDED ON



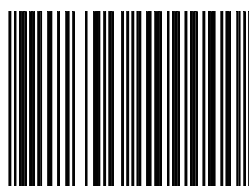
4.1.49

2. GS1 DATABAR EXPANDED OFF



4.1.50

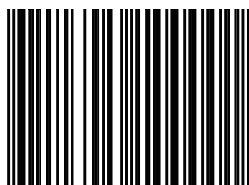
3. 設定終了



1.1

10. 12 読み取りコードの選択 13

1. 設定開始



1.1

2. GS1 DATABAR LIMITED ON



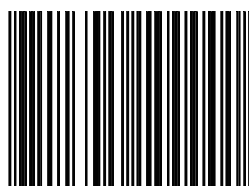
4.1.51

2. GS1 DATABAR LIMITED OFF



4.1.52

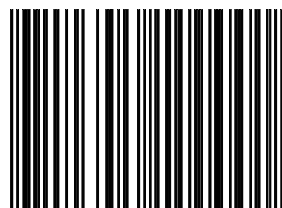
3. 設定終了



1.1

11.0 読み込み桁数の設定（設定方法）

1. 設定開始をスキャン



1.1



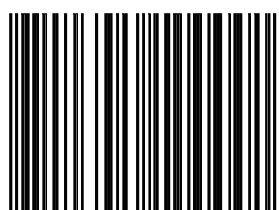
2. 最小桁数設定をしたいコード
または指定したい読込桁数を
スキャンします。



3. 最小桁数 / 読込桁数指定を
スキャンします。



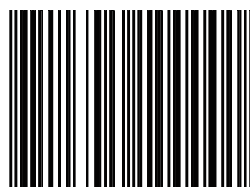
4. 設定終了をスキャン



1.1

11.1 最小読み込み桁数の設定

1. 設定開始



1.1

2. 最小読み取り桁数を指定するコードを選択

Code128 最小読み取り桁数設定



4.2.1

codebar 最小読み取り設定



4.2.3

Code39 最小読み取り桁数設定



4.2.32

MSI PLESSEY 最小読み取り設定



4.2.32

Code93 最小読み取り桁数設定



4.2.33

interleaved 2/5 最小読み取り設定

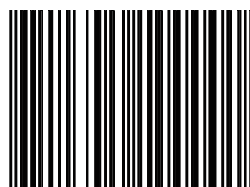


4.2.4

P-××に進みます。

11.2 読み取り桁数の設定 2

1. 設定開始



1.1

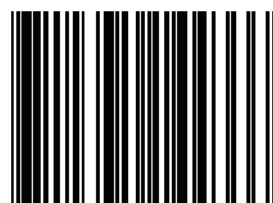
2. 読み取り桁数を指定するコードを選択

Code128 読み取り桁数設定



4.2.5

codebar 読み取り設定



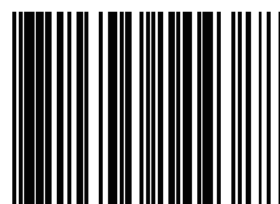
4.2.7

Code39 読み取り桁数設定



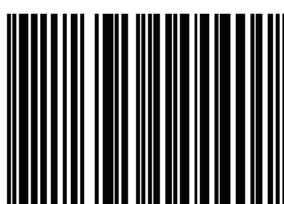
4.2.6

MSI PLESSEY 読み取り設定



4.2.34

Code93 読み取り桁数設定



4.2.36

interleaved 2/5 読み取り設定



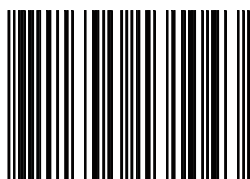
4.2.8

P-×× に移動します。

11.3 読み込み桁数の設定 3

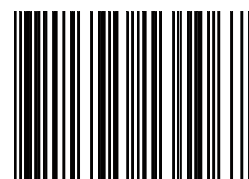
3. 読み取り桁数を指定するコードを選択

4 桁



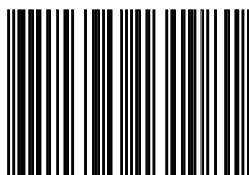
4.2.15

6 桁



4.2.16

8 桁



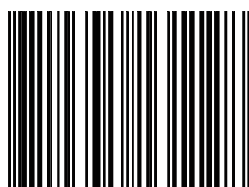
4.2.17

10 桁



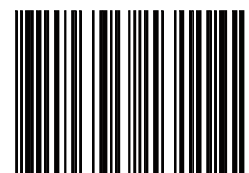
4.2.18

12 桁



4.2.19

14 桁

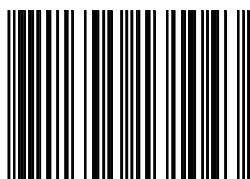


4.2.20

11.3 読み込み桁数の設定 3

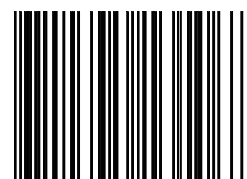
3. 読み取り桁数を指定するコードを選択

4 桁



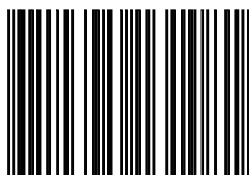
4.2.15

6 桁



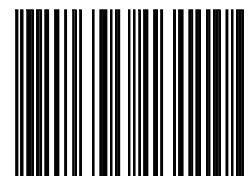
4.2.16

8 桁



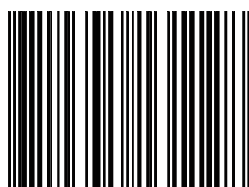
4.2.17

10 桁



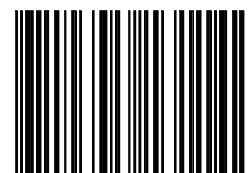
4.2.18

12 桁



4.2.19

14 桁

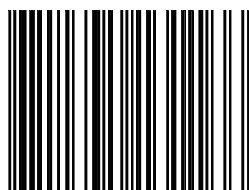


4.2.20

11.4 読み込み桁数の設定 4

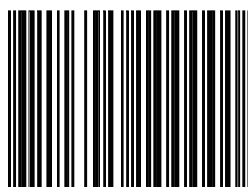
3. 読み取り桁数を指定するコードを選択

16 桁



4.2.21

4. 設定終了

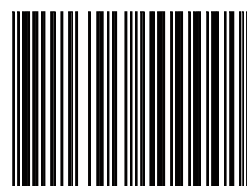


1.1

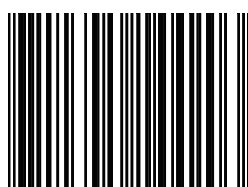
12.0 先頭付加コード設定

1. P●●よりフルアスキー Code 39 を ON にします。(初期状態では ON)

2. 設定開始



1.1

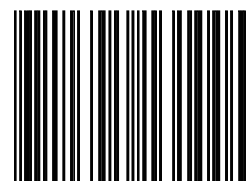


5.1.1

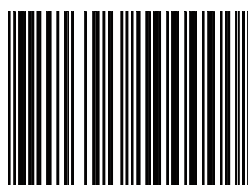
3. 先頭付加設定開始

4. P×× から付加するコードを選択します。

5. 設定の保存



5.1.2



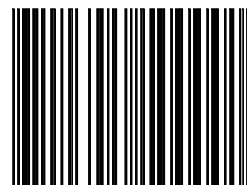
1.1

6. 設定完了

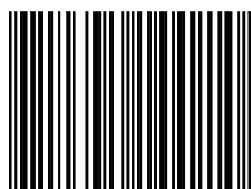
13.0 末尾付加コード設定

1. P28よりフルアスキー Code 39 を ON にします。(初期状態では ON)

2. 設定開始



1.1



5.2.5

3. 末尾付加設定開始

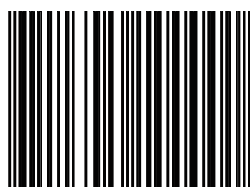
4. P58から付加するコードを選択します。

5. 設定の保存



5.2.6

6. 設定完了



1.1

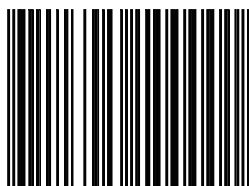
14.0 コードの ID 送信

- ・コード ID 送信を ON にすることで
先頭に読み取ったコードの種類によって ID を
付加することが出来ます。
EAN 128 の 93245678 と表示されたバーコードを
スキャンした場合、#93245678 と出力されます。

コード	送信されるコード	MESSAGE FORMAT
EAN13	F	D1 - D13
EAN8	FF	D1 - D8
UPCA	A	D1 - D12
UPCE	E	0 D1 - D6
Code 128	#	D1 - Dx
EAN 128	P	]C1 D1 - Dx
Code 39	*	D1 - Dx
Code 32	*	D1 - Dx
Codabar	%	D1 - Dx
Interleaved 2/5	i	D1 - Dx
MSI Plessey	O	D1 - Dx
Code 93	L	D1 - Dx
ISBN	F	D1 - D10
ISSN	F	D1 - D8
GS1 DataBar	U	D1 - D14
GS1 DataBar Expanded	W	D1 - D74 (numeric) or D1 - D42 (alphanumeric)

14.1 コードの ID 送信 2

1. 設定開始



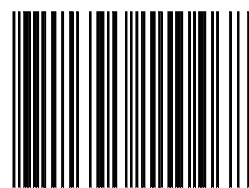
1.1

2. ID 付加 ON



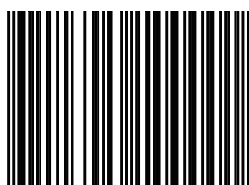
5.3.1

2. ID 付加 OFF



5.3.2

3. 設定終了

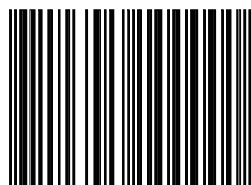


1.1

よく使われる設定

◆初期化（工場出荷時に戻す）

1. 設定開始



1.1

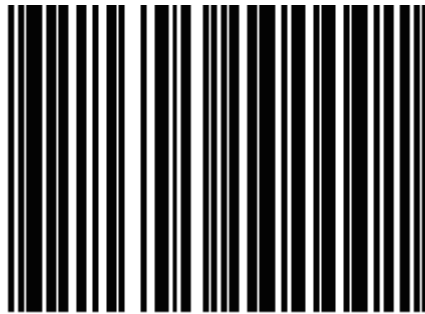
2. 初期化



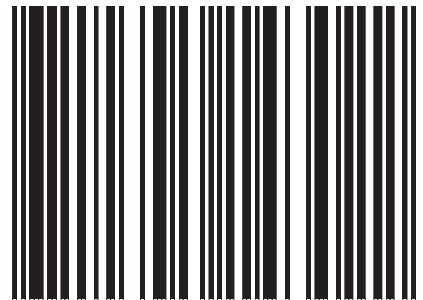
このコードを読み込み後にバーコードリーダーが再起動したら初期化完了です。

◆codabar 有効設定

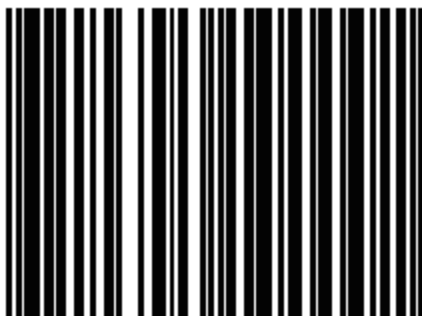
①設定開始



②CODABAR 有効

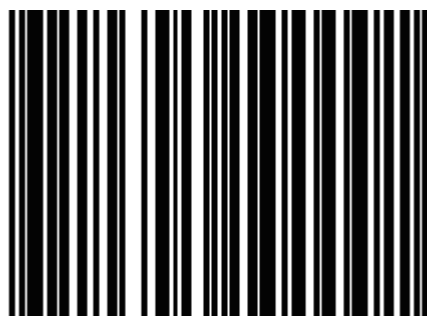


③設定終了



◆CODABAR スタート・ストップ無効

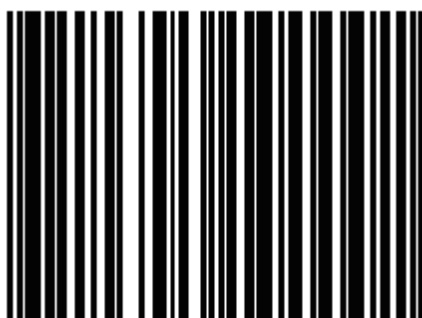
①設定開始



②スタート／ストップ無効

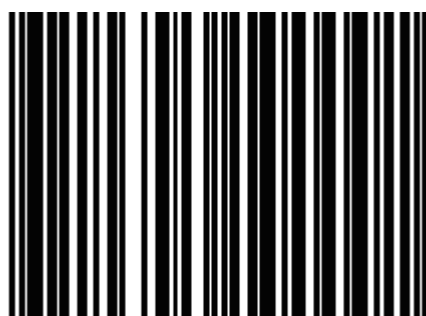


③設定終了



◆CODE39 最小読み取り桁数設定

①設定開始

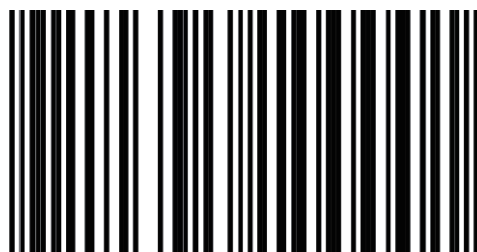


② Code39 最小桁数読取設定

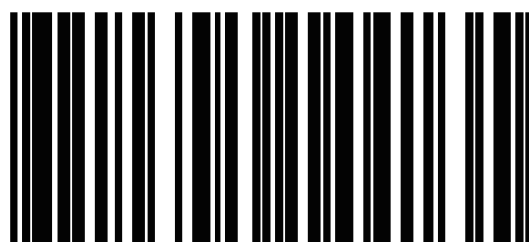


◆CODE128 最小読み取り桁数の指定

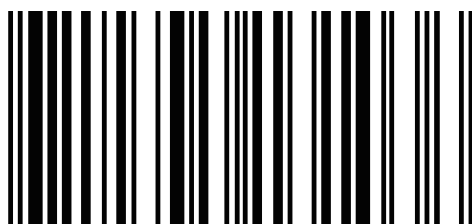
①設定開始



② CODE128 最小桁数設定



③最小桁数
「3」桁



④設定終了



◆EAN/UPC 読み取り ON・OFF

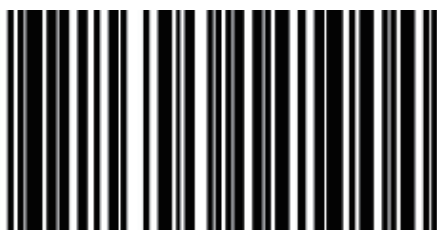
①設定開始



②-A 設定有効



②-B 設定無効



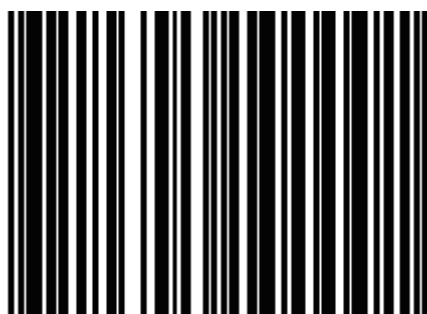
③設定終了



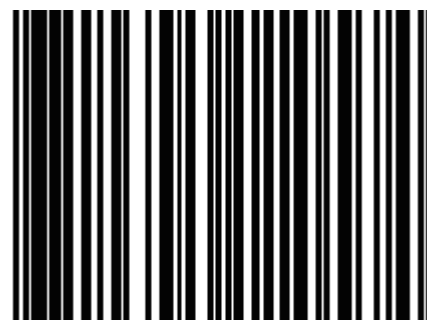
◆UPCA＝JAN13 有効設定

以下の設定を有効にすると先頭の「0」を省略せずに送信できます。

①設定開始



②設定有効



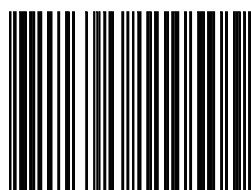
③設定終了



設定用コード

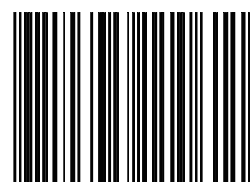
A 末尾付加コード設定（設定コード）

- Enter キー



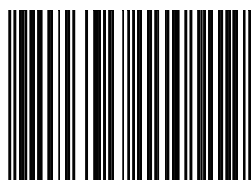
5.2.1

- LF キー



5.2.2

- CR + LF キー



5.2.3

- TAB キー



工場設定デフォルト設定

◆デフォルト設定

スリープモード	デフォルト
スリープモード	10 分後
RS232インターフェイス設定	デフォルト
ボーレート	9600
パリティ	無し
データビット	8
ストップビット	2
RTS/CTS	無効
ポスタンプル	<CR>
キーボードエミュレーション設定	デフォルト
ターミナルタイプ	PC/AT
キーボード言語	インターナショナルキーボード
キャラクタ間遅延	0 mSec
ポスタンプル	CR
バーコード読み取り設定	デフォルト
EAN/UPC	有効(アドオン 有効)
Code 128/EAN 128	有効
Code 39	有効
Code 32	無効
Coda bar(NW-7)	無効
Interleaved 2/5	有効
MSI Plessey	無効
Code 93	無効
ISBN	無効
ISSN	無効
GS1 DataBar	無効
GS1 DataBar Expanded	無効
最小読み取り桁数設定	デフォルト
Interleaved 2/5 (CODE39/CODABAR)	4 (3)
コードID設定	デフォルト
コード ID	送信しない